旧学校施設利活用
～旧河内小学校白浜分校の利活用事業～

令和4年(2022年)2月15日(火)

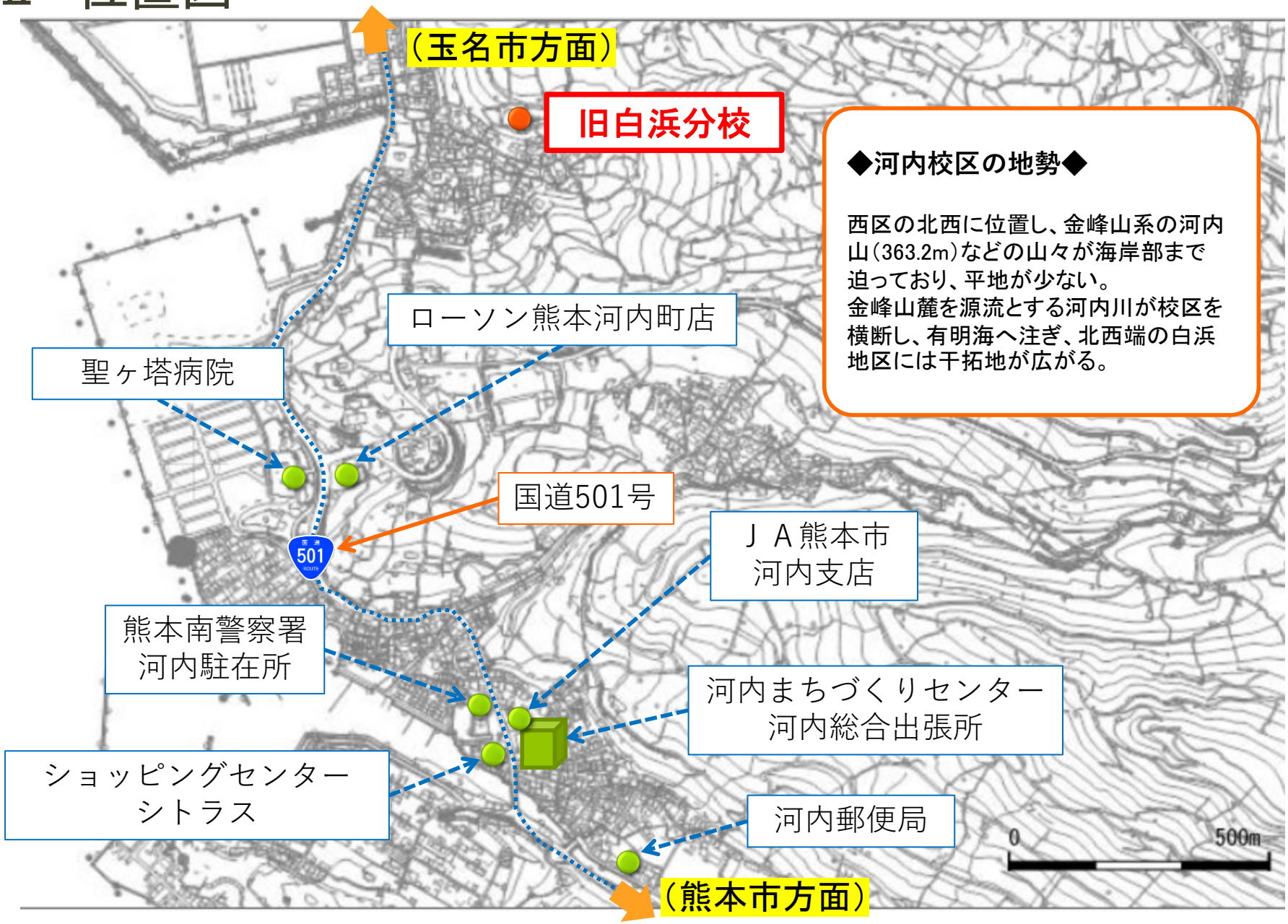
熊本市　財政局　財務部　資産マネジメント課
教育委員会事務局　教育総務部　教育政策課
西区役所　区民部　河内まちづくりセンター

新しく生きよう。
NEO ONE
KUMAMOTO

Ⅰ　閉校の経緯

H26年6月　熊本市学校規模適正化基本方針策定
H27年8月　河内小学校白浜分校就学前保護者説明
　　意見交換会の実施
H28年4月　白浜地区総会にて説明
H28年8月　河内・白浜地区の地域代表者による
　　「地域懇談会」の設置
　　⇒河内小学校白浜分校の河内小学校への統合合意
　　（H28年10月）
H29年6月　河内・白浜地区の地域代表者による
　　「新校準備会」の設置
H30年3月　河内小学校白浜分校が閉校

Ⅱ　位置図


（玉名市方面）
旧白浜分校
◆河内校区の地勢◆
西区の北西に位置し、金峰山系の河内山（363.2m）などの山々が海岸部まで迫っており、平地が少ない。
金峰山麓を源流とする河内川が校区を横断し、有明海へ注ぎ、北西端の白浜地区には干拓地が広がる。
ローソン熊本河内町店
聖ヶ塔病院
国道501号
501
ＪＡ熊本市
河内支店
熊本南警察署
河内駐在所
河内まちづくりセンター
河内総合出張所
ショッピングセンター
シトラス
河内郵便局
0
500m
（熊本市方面）

（参考） 周辺地域（河内校区）の紹介

【河内校区】

主な産業は農水産業で、海岸沿いから続く金峰山山麓では、江戸時代に栽培が始まったうんしゅうみかんや不知火（デコポン）など柑橘類の栽培が盛んで、全国有数の産地です。

また、白浜地区の水田ではハウス栽培による いちごの生産も行われており、大都市や海外向けの高級品として出荷されています。

有明海では海苔の養殖が行われおり、ブランド化に成功し、高品質の海苔が各地に向けて出荷されています。

特産品







校区人口 ※2022年1月現在

	世帯数	人口		
		計	男	女
河内校区	1,480	3,756	1,806	1,950

Ⅲ　施設概要（全体図）

≪旧河内小学校白浜分校≫

所在地：西区河内町白浜１０１８－６
敷地面積：2,359㎡（内、運動場601㎡）
用途地域：都市計画区域外
その他：
・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
　※建物北側の一部
・電気、水道、ガス（プロパン）の設備は残存
・指定緊急避難場所

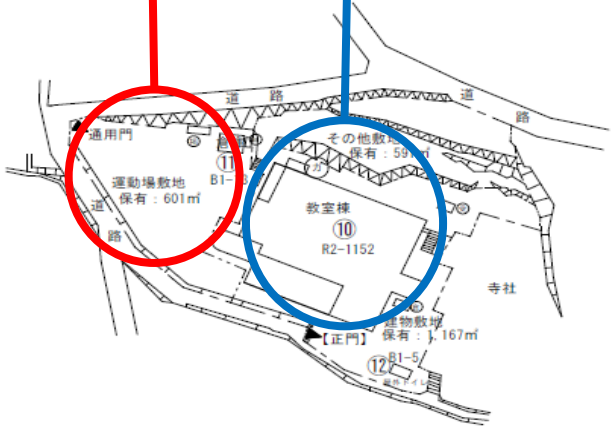
施設	地震	洪水	高潮	土砂	津波
運動場	○	×	○	×	○
校舎	○	○	○	×	○

交通アクセス
・最寄バス停：白浜農協入口
　（九州産業交通バス）

【航空写真】



運動場　　建物



【配置図】

Ⅲ　施設概要（外観等）



建物の全容



建物外観（東側）



運動場

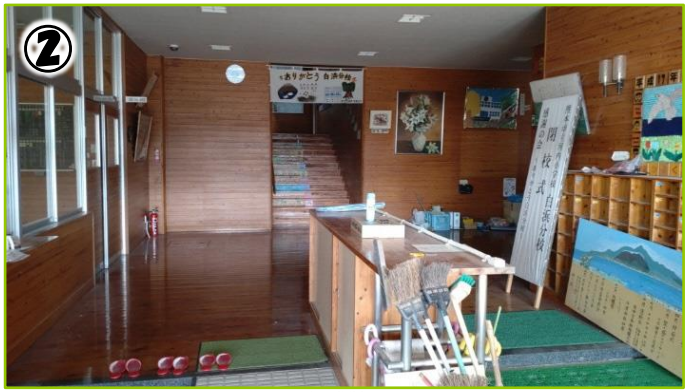


２階教室からの眺望

Ⅲ　施設概要（1階部分）

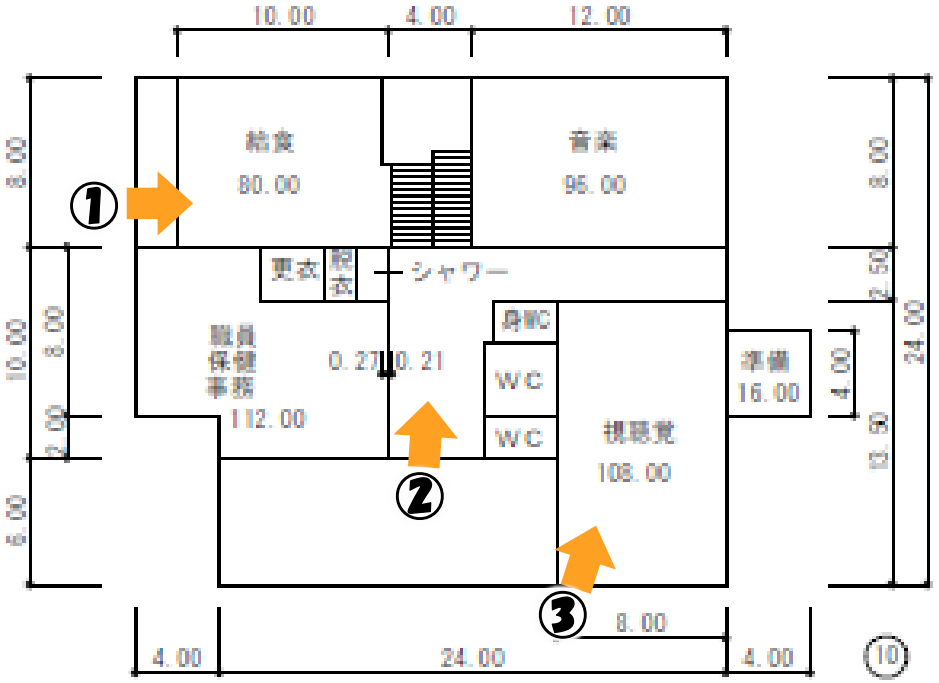


給食室（80㎡）



正面入口





【１階　平面図】

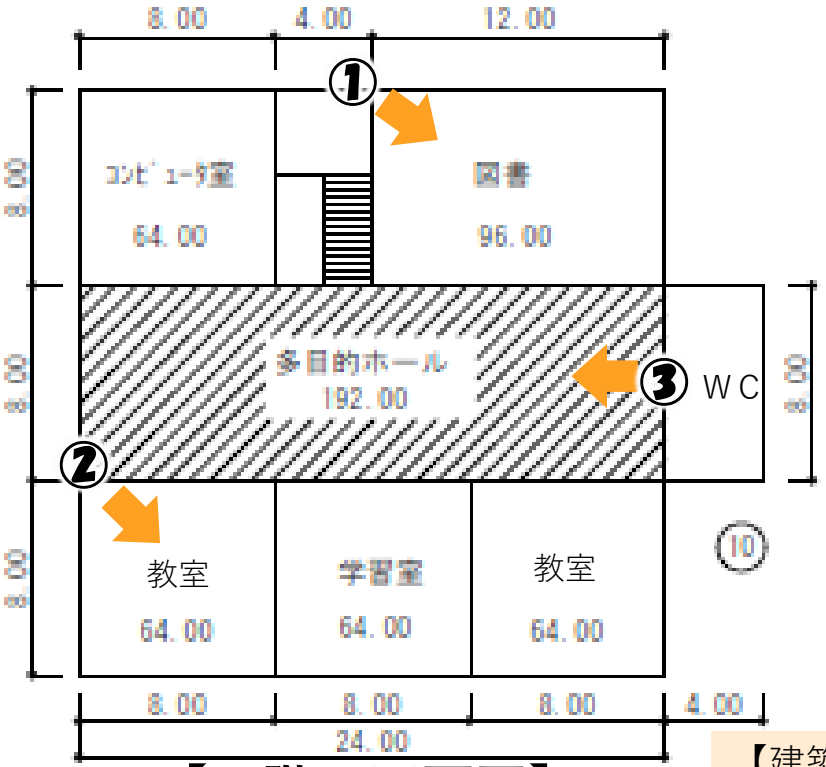
【建築年度】１９９３年（平成5年）【延床面積】１,０７２㎡
【構造】鉄筋コンクリート造２階建

Ⅲ　施設概要（2階部分）





教室（64㎡）



【２階　平面図】



多目的ホール（192㎡）

【建築年度】１９９３年（平成5年）【延床面積】１,０７２㎡
【構造】鉄筋コンクリート造２階建

Ⅳ　利活用について

【利活用の目的】

旧河内小学校白浜分校の校舎の一部について、民間事業者が持つノウハウを活かし、
施設を最大限に利活用することにより、河内校区の活性化を図ることを目的としています。

【利活用の方法】

校舎の一部（施設概要における「建物（旧校舎）」及び「運動場」）について、民間事業者への貸付（行政財産の目的外使用許可）を行うことにより利活用を図ります。

【利活用の条件等（予定）】

※今回いただいた意見や提案等を踏まえて、今後検討を行います

- 貸付（使用許可）期間
  貸付期間は１年ごとに更新します。ただし、原則として５年間を超える更新は行いません。
- 利活用にあたっての用途制限
  都市計画区域外のため建築基準法上の用途規制等の集団規定の適用はありませんが、建築物の用途変更を伴う場合は、建築基準法の単体規定や消防法が適用されることがあります。
- 貸付に伴う費用負担
  〇貸付料（使用料）
  〇その他　事業実施に伴い発生する燃料光熱水費等の実費負担、
  　　必要となる内装工事費　など

Ⅴ　利活用にあたっての利点と課題

【利点】

- 食品加工や調理などに使用できる調理施設として給食室を備えている。
- 2階部分の多目的ホール及び３つの教室の仕切りを取り外すことで、最大３８４㎡をワンフロアとして様々な用途に使用可能。
- 海と山に囲まれ、有明海を一望できる眺望を持つ、自然豊かな環境。
- 熊本市中心部から車で約30分、JR熊本駅から約25分の通勤圏内。
  （有明海沿岸道路（Ⅱ期）熊本市～大牟田市までの整備方針あり）

【課題】

- 最寄りバス停から徒歩8分程度の立地。
- 建物付近まで大型車両が入れる道がない。
  （現在、熊本県において広域農道を整備中）

河内校区地域住民の主な意見

- 高齢者のコミュニケーションの場として活用できないか。
- 外国人技能実習生の宿泊所として利用できないか。
- 宿泊施設、農家民宿、ゲストハウスとしての活用。
- 校舎から望む有明海の夕日を見てほしい。
- レストランなどの飲食施設として利用できないか。
- 食・音楽・ものづくりなど、地域活性化の拠点として活用できないか。
- グラウンドを活用し、キャンプなどが出来ないか。
- 部活動などの合宿所として活用できないか。



Ⅵ　今後の予定

令和４年２月１５日	マーケットサウンディング
令和4年度中	地域住民への説明 （マーケットサウンディングの結果を踏まえ、地域住民へ現状説明）

▼ 現地見学について

旧河内小学校白浜分校を実際に見学されたい方は、現地をご案内します。

西区役所　河内まちづくりセンター

☎　０９６－２７６－１１１１

✉ kawachimachizukuricenter@city.kumamoto.lg.jp

までご連絡ください。

